

数量計算書

配水管布設替工

1 材料費

材料費数量調書

名 称	形状寸法	単位	配水管 布設替部	配水管 更新部	配水管 新設部	合計	設計数量
配水用ポリエチレン管	EF受口付 φ 75 L=5.0m	本	56	22	9	87	87
配水用ポリエチレン管	ブレーンエンド φ 75 L=5.0m	本	1			1	1
配水用ポリエチレン管	保温被覆付直管 φ 75 L=5.0m	本	1			1	1
配水用ポリエチレン管	EF受口付 φ 50 L=5.0m	本	6			6	6
配水用ポリエチレン管（継手）	EF 片受 φ 75 90° ベンド	個	3	1		4	4
配水用ポリエチレン管（継手）	EF 片受 φ 75 45° ベンド	個	2			2	2
配水用ポリエチレン管（継手）	EF 片受 φ 75 22° ベンド	個	1			1	1
配水用ポリエチレン管（継手）	EF 片受 φ 50 45° ベンド	個	1			1	1
配水用ポリエチレン管（継手）	EF 片受 φ 75 Sベンド H=300	個	1	1		2	2
配水用ポリエチレン管（継手）	EF 両受 φ 75 90° ベンド	個	3			3	3
配水用ポリエチレン管（継手）	EF 両受 φ 75 45° ベンド	個	2		1	3	3
配水用ポリエチレン管（継手）	EF 両受 φ 75 22° ベンド	個	1			1	1
配水用ポリエチレン管（継手）	EF 両受 φ 75 ソケット	個	10	4	2	16	16
配水用ポリエチレン管（継手）	EF 両受 φ 50 ソケット	個	4			4	4
配水用ポリエチレン管（継手）	EF 両受 φ 75×75 チーズ	個	3			3	3

材料費数量調書

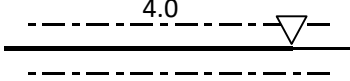
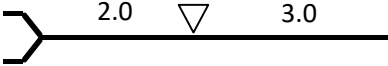
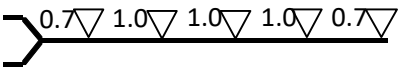
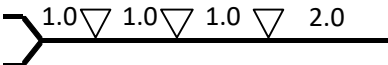
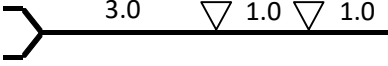
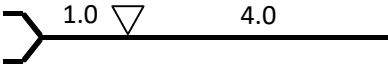
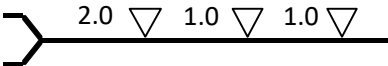
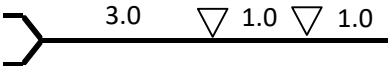
名 称	形状寸法	単位	配水管 布設替部	配水管 更新部	配水管 新設部	合計	設計数量
配水用ポリエチレン管（継手）	EF 両受 φ 75×50 チーズ	個	1			1	1
配水用ポリエチレン管（継手）	EF 保温被覆付 φ 75×25 空気弁用チーズ	個	1			1	1
配水用ポリエチレン管（継手）	EF レデューサ スピコット φ 75×50	個	1			1	1
PVジョイント	離脱防止内蔵型 内外面粉体 φ 75	基	3			3	3
PVジョイント	離脱防止内蔵型 内外面粉体 φ 50	基	2			2	2
PVジョイント片落管	離脱防止内蔵型 内外面粉体 PEP φ 75×VP100	基			2	2	2
PCジョイント	離脱防止内蔵型 内外面粉体 φ 75	基		1		1	1
配水用ポリエチレン管 ソフトシール仕切弁	粉体塗装7.5K(内ねじ) φ 75 両ポリエチレン管挿し口	個	6	3	1	10	10
配水用ポリエチレン管 ソフトシール仕切弁	粉体塗装7.5K(内ねじ) φ 50 両ポリエチレン管挿し口	個	2			2	2
HIVP	φ 75 L=5.0m	m 本	1.0 1			1.0 1	1
VSジョイント片落管	離脱防止内蔵型 内外面粉体 φ 150×75	基	1			1	1
水道用地下式消火栓 7.5K	内外面粉体 単口 φ 75	個		1		1	1
水道用補修弁（ボール弁）	φ 75×100 内外面粉体 7.5K	個		1		1	1
ダクタイル鋳鉄異形管 フランジ形フランジ短管（Ⅱ類）	φ 75×200 内面エポキシ樹脂粉体塗装	個		1		1	1
PP用F型台座付T字管	離脱防止内蔵型 内外面粉体 φ 75×75	基		1		1	1

材料費数量調書

名 称	形状寸法	単位	配水管 布設替部	配水管 更新部	配水管 新設部	合計	設計数量
凍結破損防止型空気弁	φ 25	基	1			1	1
フランジパッキン	φ 75	枚		3		3	3
フランジボルトナット	SUS304 M16×75 被膜処理加工	本		12		12	12
ステンレス座金	M16 SUS304	枚		24		24	24
仕切弁筐	中長700-1165	基	8	3	1	12	12
丸台座 再生プラスチック	中、中長、小、最小	基	8	3	1	12	12
消火栓鉄蓋 φ 600 テーパー入消火栓用ボックス	鉄蓋 φ 600レジンボックス H=200+300 2段底板 微調整金具・取付ボルト 各1組無収縮モルタル	組		1		1	1
無収縮モルタル用型枠	φ 600	組		1		1	1
ソケットカバー	保温付UVカットシリーズ φ 75	個	1			1	1
管表示テープ	30mm×20m年号入り	個	21.8	7.5	3.1	32.4	33

切管調書

▽は切断位置を示す

長 さ (m)					切口数	管種	使用数量
受口切管	両口・挿口切管	切管計	残管	計			
		-	-	5000	-	HPPE (φ 75)	80
		-	-	5000	-	HPPE (φ 75)	1
		4000	1000	5000	1	保温被覆付 HPPE (φ 75)	1
		5000	0	5000	1	HPPE (φ 75)	1
		4400	600	5000	5	HPPE (φ 75)	1
		5000	0	5000	3	HPPE (φ 75)	2
		5000	0	5000	2	HPPE (φ 75)	1
		5000	0	5000	1	HPPE (φ 75)	1
		4000	1000	5000	3	HPPE (φ 75)	1
		切管合計	残管合計		切断工合計		合計
		37400	2600		19		89
		-	-	5000	-	HPPE (φ 50)	5
		5000	0	5000	2	HPPE (φ 50)	1
		切管合計	残管合計		切断工合計		合計
		5000	0		2		6

数量計算書

配水管布設替工

2 布設費

布設費数量調書

名 称	形状寸法	単位	配水管 布設替部	配水管 更新部	配水管 新設部	合計	設計数量
ポリエチレン管（融着接合(EF接合)）布設工 据付工	φ 75	m	295. 84	112. 48	46. 73	455. 05	455. 1
ポリエチレン管（融着接合(EF接合)）布設工 据付工	φ 50	m	30. 90			30. 90	30. 9
ポリエチレン管（融着接合(EF接合)）布設工 継手工	1 口 φ 75	箇所	76	24	10	110	110
ポリエチレン管（融着接合(EF接合)）布設工 継手工	1 口 φ 50	箇所	7			7	7
ポリエチレン管（融着接合(EF接合)）布設工 継手工	2 口 φ 75	箇所	14	4	2	20	20
ポリエチレン管（融着接合(EF接合)）布設工 継手工	2 口 φ 50	箇所	4			4	4
ポリエチレン管（メカニカル継手）継手工	φ 75	口	3	1	2	6	6
ポリエチレン管（メカニカル継手）継手工	φ 50	口	2			2	2
メカニカル継手工	φ 150	口	1			1	1
メカニカル継手工	φ 100	口			2	2	2
メカニカル継手工	φ 75以下	口	6	1		7	7
ポリエチレン管切断	φ 75	口	13	4	2	19	19
ポリエチレン管切断	φ 50	口	2			2	2
硬質塩化ビニル管据付工	φ 75	m	1			1	1
硬質塩化ビニル管切断	φ 75	口	1			1	1

布設費数量調書

名 称	形状寸法	単位	配水管 布設替部	配水管 更新部	配水管 新設部	合計	設計数量
鋳鉄製仕切弁設置	(縦型)機械力 φ100以下	基	8	3	1	12	12
ねじ式弁筐設置	A型1号 受枠30以上60Kg未満 蓋30Kg未満 底版を使用する	箇所	8	3	1	12	12
地下式消火栓設置工	単口 機械施工	箇所		1		1	1
フランジ継手	φ75 (80) mm 鋳鉄管：JWA7.5K	口		2		2	2
消火栓ボックス設置工	円形4号 内寸600mm	箇所		1		1	1
空気弁設置工	人力施工 φ13mm～25mm	基	1			1	1
管明示テープ	ポリエチレン管 φ75×5000	m	295.84	112.48	46.73	455.05	455.1
管明示テープ	ポリエチレン管 φ50×5000	m	30.90			30.90	30.9
管明示シート		m	326.74	112.48	46.73	485.95	486.0

数量計算書

配水管布設替工

3 撤去費

撤去費数量調書

名 称	形状寸法	単位	配水管 布設替部	配水管 更新部	配水管 新設部	合計	設計数量
既設管撤去切断工	HIVP φ 150	口	1			1	1
既設管撤去切断工	HIVP φ 75	口	2			2	2
既設管撤去切断工	HIVP φ 50	口	2			2	2
既設管撤去切断工	エンジンカッター使用 DCIP φ 75	口		1		1	1
鋳鉄製仕切弁撤去	(縦型)機械力 φ 100以下	基	4	1		5	5
ねじ式弁筐撤去	A型1号 受枠30以上60Kg未満 蓋30Kg未満 底版を使用する	箇所	4	1		5	5

数量計算書

配水管布設替工

4 土工費

土工費数量調書

名 称	形状寸法	単位	1	2	3	4	5	合計	設計数量
			町道部①	町道部②	町道部③	町道部 (再掘削部)	水管橋 給水管切替工 仮設工		
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	5.70	943.55	4.00			953.25	953
バックホリによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホリ クローラ山積0.28m3	m2	1.53	292.12	1.02	9.66		304.33	304
バックホリ掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	2.05	303.22	0.86	10.24		316.37	316
管路埋戻費（機械埋戻 バックホリ） 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め	m3	0.72	137.68	0.45	4.57		143.42	143
管路埋戻費（機械埋戻 バックホリ） 発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め	m3	0.72	49.66		1.64		52.02	52
路盤工（施工幅1.8m未満） 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンパ	m2	1.53	292.12	1.02	9.66		304.33	304
路盤工（施工幅1.8m未満） 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0 タンパ	m2	1.53	292.12	1.02	9.66		304.33	304
アスファルト舗装工（人力） 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン（13） プライムコート（PK-3）	m2	1.53	292.12	1.02	9.66		304.33	304
発生土運搬 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し 4t L=10.0km	m3	1.33	253.56	0.86	8.60		264.35	264
発生土処分		m3	1.33	253.56	0.86	8.60		264.35	264
アスファルト塊・コンクリート塊（無筋） 運搬費 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し 4t L=10.0km	m3	0.08	14.61	0.05	0.29		15.03	15
廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0.19	34.33	0.12	0.68		35.32	35
アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 （処理に焼却又は溶融を含まず）	m3	0.007	1.227	0.005			1.24	1.24
アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 30.0kmまで	t 台	0.008	1.472	0.006		0.260	1.746 1.0	1

土工費数量調書No.1

略 図				名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式							
補助単独	舗装区分	土工計算方法		備考						m	箇所	m	箇所				
—	町道部①	掘削断面×総延長		HPPE φ 75		舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	5.70	0.60	×	1	+	2.55	×	2	
掘削埋戻し 50 舗装版取壊・再生密粒度AS 再生粒調砕石 RM40-0 再生切込砕石 RC40-0 発生土 埋戻し用砂 5-0 50 150 230 470 300 90 100 1340 1200 490 1390 600						バックホリによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホリ クローラ山積0.28m3	m2	1.53	0.60	×	2.55					
						バックホリ掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	2.05	0.60	×	1.34	×	2.55			
						管路埋戻費 (機械埋戻 バックホリ) 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	0.72	0.60	×	0.49	-	0.010	)	×	2.55
						管路埋戻費 (機械埋戻 バックホリ) 発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	0.72	0.60	×	0.47	×	2.55			
						路盤工 (施工幅1.8m未満) 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンパ	m2	1.53	0.60	×	2.55					
						路盤工 (施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0 タンパ	m2	1.53	0.60	×	2.55					
						アスファルト舗装工 (人力) 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン (13) プライムコート(PK-3)	m2	1.53	0.60	×	2.55					
						発生土運搬 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し ダンプトラック4t L=10.0km	m3	1.33	2.05	—	0.72					
						発生土処分		m3	1.33								
						アスファルト塊・コンクリート塊 (無筋) 運搬費 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し ダンプトラック4t L=10.0km	m3	0.08	0.60	×	0.05	×	2.55			
						廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0.19	0.08	×	2.35					
						アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶解を含まず)	m3	0.007	0.13	÷	100	×	5.70			
						アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 30.0kmまで	t 台	0.008	0.007	×	1.200	=	0.008			

土工費数量調書No.2

略 図							名 称		形 状 寸 法		単 位	数 量	計 算 式			
補助単独	舗装区分	土工計算方法			備考								$\frac{m}{32.57} \times \frac{4}{1} + \frac{454.29}{2} \times \frac{m}{2} +$			
—	町道部②	掘削断面×総延長			HPPE φ75～φ50		舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	943.55						
掘削 埋戻し 50 舗装版取壊 再生密粒度AS 50 再生粒調碎石 RM40-0 150 再生切込碎石 RC40-0 230 発生土 170 埋戻し用砂 5-0 300 88 100 機械掘削 900 1038 488 600							バックホリによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホリ クローラ山積0.28m3	m2	292.12	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{486.86}$					
							バックホリ掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	303.22	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{1.038} \times \frac{m}{486.86}$					
							管路埋戻費（機械埋戻 バックホリ） 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	137.68	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{0.488} - \frac{m^2}{0.010} \times \frac{m}{486.86}$					
							管路埋戻費（機械埋戻 バックホリ） 発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	49.66	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{0.17} \times \frac{m}{486.86}$					
							路盤工（施工幅1.8m未満） 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンバ	m2	292.12	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{486.86}$					
							路盤工（施工幅1.8m未満） 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0 タンバ	m2	292.12	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{486.86}$					
							アスファルト舗装工（人力） 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン（13） プライムコート(PK-3)	m2	292.12	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{486.86}$					
							発生土運搬 現場～処分場		BH0.28m ³ DID無し ダンプトラック4t L=10.0km	m3	253.56	$\frac{m^3}{303.22} - \frac{m^3}{49.66}$				
							発生土処分			m3	253.56					
							運搬費 現場～処分場		BH0.28m ³ DID無し ダンプトラック4t L=10.0km	m3	14.61	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{0.05} \times \frac{m}{486.86}$				
廃材持込料 As廃材		東松山県土整備事務所	t	34.33	$\frac{m^3}{14.61} \times \frac{t}{2.35}$											
アスファルト切断濁水処分費		中間処理後、最終処分場に搬入 （処理に焼却又は溶解を含まず）	m3	1.227	$\frac{m}{0.13} \div 100 \times 943.55$											
アスファルト切断濁水運搬		積載量 2t 運搬距離 30.0kmまで	t 台	1.472	$\frac{1.227}{1.200} \times \frac{t}{m^3} = 1.472$											

土工費数量調書No.3

略 図				名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式									
補助単独	舗装区分	土工計算方法		備考															
—	町道部③	掘削断面×総延長		HPPE φ75 HIVP φ75		舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	4.00	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{1} + \frac{m}{1.70} \times \frac{m}{2}$									
掘削埋戻し 舗装版取壊 再生密粒度AS 再生粒調砕石 RM40-0 再生切込砕石 RC40-0 埋戻し用砂 5-0 機械掘削 5015023027089100 430 700 459 889 600																			
						バックホリによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホリ クローラ山積0.28m3	m2	1.02	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{1.70}$									
						バックホリ掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	0.86	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{0.839} \times \frac{m}{1.70}$									
						管路埋戻費（機械埋戻 バックホリ） 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め	m3	0.45	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{0.459} - \frac{m^2}{0.010}) \times \frac{m}{1.70}$									
						路盤工（施工幅1.8m未満） 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンバ	m2	1.02	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{1.70}$									
						路盤工（施工幅1.8m未満） 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0 タンバ	m2	1.02	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{1.70}$									
						アスファルト舗装工（人力） 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン（13） プライムコート(PK-3)	m2	1.02	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{1.70}$									
						発生土運搬 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し ダンプトラック4t L=10.0km	m3	0.86	$\frac{m^3}{0.86}$									
						平均管径と総延長の計算													
						箇所	管種	径	延長	余堀り	計上分	備考	発生土処分		m3	0.86			
						A-E.P H=700	HPPE	90	0.20		0.20		アスファルト塊・コンクリート塊（無筋） 運搬費 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し ダンプトラック4t L=10.0km	m3	0.05	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{0.05} \times \frac{m}{1.70}$		
A-E.P H=700	HIVP	89	1.00	0.5	1.50		廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0.12	$\frac{m^3}{0.05} \times \frac{t/m^3}{2.35}$								
アスファルト切斷濁水処分費						中間処理後、最終処分場に搬入 （処理に焼却又は溶解を含まず）	m3	0.005	$\frac{m}{0.13} \div 100 \times 4.00$										
アスファルト切斷濁水運搬						積載量 2t 運搬距離 30.0kmまで	t 台	0.006	$\frac{t/m^3}{0.005} \times \frac{t/m^3}{1.200} = 0.006$										
		径	89	総延長		1.70													

土工費数量調書No.4

略 図				名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式								
補助単独	舗装区分	土工計算方法		備考														
—	町道部 (再掘削部)	掘削断面×総延長		HPPE φ75		バックホーによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホー クローラ山積0.28m3	m2	9.66	$0.60^m \times 16.10^m$								
掘削 埋戻し 30 1060 30 舗装版取壊 再生密粒度AS 再生粒調砕石 RM40-0 再生切込砕石 RC40-0 発生土 埋戻し用砂 5-0 50 150 230 170 300 90 100 900 490 1090 600																		
						バックホー掘削積込	クローラ型 山積0.28m3 (平積0.2)	m3	10.24	$0.60^m \times 1.06^m \times 16.10^m$								
						管路埋戻費 (機械埋戻 バックホー) 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	4.57	$0.60^m \times 0.49^m - 0.010^{m^2} \times 16.10^m$								
						管路埋戻費 (機械埋戻 バックホー) 発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	1.64	$0.60^m \times 0.17^m \times 16.10^m$								
						路盤工 (施工幅1.8m未満) 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンパ	m2	9.66	$0.60^m \times 16.10^m$								
						路盤工 (施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0 タンパ	m2	9.66	$0.60^m \times 16.10^m$								
						アスファルト舗装工 (人力) 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン (13) プライムコート(PK-3)	m2	9.66	$0.60^m \times 16.10^m$								
						発生土運搬 現場〜処分場	BH0.28m ³ DID無し ダンプトラック4t L=10.0km	m3	8.60	$10.24^{m^3} - 1.64^{m^3}$								
						平均管径と総延長の計算												
						箇所	管種	径	延長	余堀り	計上分	備考	発生土処分	m3	8.60			
						H=900 町道部 (再掘削部)	HPPE	90	16.10		16.10							
													アスファルト塊・コンクリート塊 (無筋) 運搬費 現場〜処分場	BH0.28m ³ DID無し ダンプトラック4t L=10.0km	m3	0.29	$0.60^m \times 0.03^m \times 16.10^m$	
						布設延長 L=455.05m												
再掘削箇所 N=14箇所							廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0.68	$0.29^{m^3} \times 2.35^{t/m^3}$							
1箇所あたり L=1.15m																		
再掘削延長 L=16.1m																		
※1日34.4m布設																		
		径																
		90	総延長		16.10													

数量計算書

水管橋布設工

1 材料費

材料費数量調書

名 称	形状寸法	単位	配水管 新設部	合計	設計数量
SUS304TP A Sch10S【支給品】 1BE1S 90° ×3曲管	BE×挿口 ER型※埋設部外面にリレタン被覆 80A (2) ×500L×402L×300L×700L	本	1	1	0
SUS304TP A Sch10S【支給品】 1U1S 90° ×2曲管 (80A枝付)	受口 ER型ロックハント×挿口 ER型×F12 SOP RF※埋設部外面にリレタン被覆 80A (2) ×600L×787L×1650L×190H	本	1	1	0
SUS304TP A Sch10S【支給品】 1U1S 直管	受口 ER型ロックハント×挿口 ER型 80A (2) ×2500L	本	1	1	0
SUS304TP A Sch10S【支給品】 1U1S 45° ×2曲管	受口 ER型ロックハント×挿口 ER型※埋設部外面にリレタン被覆 80A (2) ×1150L×608L×297L	本	1	1	0
SUS304TP A Sch10S【支給品】 1BE1U 90° 長尺曲管	BE×受口 ER型ロックハント※埋設部外面にリレタン被覆 80A (2) ×700L×300H	本	1	1	0
支持金物【支給品】 (Uボルト・アンカーボルト込)	SUS304 L50×50×6	組	4	4	0
不凍急速型空気弁	MAV-25S (75)	基	1	1	1
フランジパッキン	φ 75	枚	1	1	1
フランジボルトナット	SUS304 M16×75 被膜処理加工	本	4	4	4
ステンレス座金	M16 SUS304	枚	8	8	8

数量計算書

水管橋布設工

2 布設費

布設費数量調書					
名 称	形状寸法	単位	配水管 新設部	合計	設計数量
鋼管布設工 吊込み据付工（人力）	呼び径80mm	m	10.49	10.49	10.5
GX形継手接合工	直管 φ100	口	4	4	4
空気弁設置工	人力施工 φ13mm～25mm	基	1	1	1
コンクリートアンカーボルト設置	足場無し	本	8	8	8

数量計算書

水管橋布設工

3 土工費

土工費数量調書					
名 称	形状寸法	単位	1	合計	設計数量
			町道部②		
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	5.80	5.80	6
バックホウによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホウ クローラ山積0.28m ³	m ²	1.74	1.74	2
バックホウ掘削積込	クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2)	m ³	1.85	1.85	2
管路埋戻費(機械埋戻 バックホウ) 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m ³ 埋戻し+締固め	m ³	0.87	0.87	1
管路埋戻費(機械埋戻 バックホウ) 発生土	クローラ型 山積0.28m ³ 埋戻し+締固め	m ³	0.30	0.30	0.3
路盤工(施工幅1.8m未満) 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンパ	m ²	1.74	1.74	2
路盤工(施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0 タンパ	m ²	1.74	1.74	2
アスファルト舗装工(人力) 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン(13) プライムコート(PK-3)	m ²	1.74	1.74	2
発生土運搬 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し 4t L=10.0km	m ³	1.55	1.55	2
発生土処分		m ³	1.55	1.55	2
アスファルト塊・コンクリート塊(無筋) 運搬費 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し 4t L=10.0km	m ³	0.09	0.09	0.1
廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0.21	0.21	0.2
アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は熔融を含まず)	m ³	0.008	0.01	0.01
アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 30.0kmまで	t 台	0.010	0.010	配水管布設替 工に含む

土工費数量調書No.1

略 図							名 称	形状寸法	単位	数量	計 算 式										
補助単独	舗装区分	土工計算方法			備考						m 箇所										
—	町道部②	掘削断面×総延長			水管橋 SUS 80A		舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	5.80	2.90	×	2								
掘削 埋戻し 50 舗装版取壊 再生密粒度AS 50 再生粒調砕石 RM40-0 150 再生切込砕石 RC40-0 230 発生土 170 埋戻し用砂 5-0 300 114 100 機械掘削 900 514 1064 600							バックホーによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホー クローラ山積0.28m3	m2	1.74	0.60	×	2.90								
							バックホー掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	1.85	0.60	×	1.064	×	2.90						
							管路埋戻費（機械埋戻 バックホー） 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め	m3	0.87	0.60	×	0.514	－	0.010	)	×	2.90			
							管路埋戻費（機械埋戻 バックホー） 発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め	m3	0.30	0.60	×	0.17	×	2.90						
							路盤工（施工幅1.8m未満） 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンバ	m2	1.74	0.60	×	2.90								
							路盤工（施工幅1.8m未満） 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0 タンバ	m2	1.74	0.60	×	2.90								
							アスファルト舗装工（人力） 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン（13） プライムコート（PK-3）	m2	1.74	0.60	×	2.90								
							発生土運搬 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し ダンプトラック4t L=10.0km	m3	1.55	1.85	－	0.30								
							発生土処分		m3	1.55											
							アスファルト塊・コンクリート塊（無筋） 運搬費 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し ダンプトラック4t L=10.0km	m3	0.09	0.60	×	0.05	×	2.90						
							廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0.21	0.09	×	2.35								
							アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 （処理に焼却又は溶解を含まず）	m3	0.008	0.13	÷	100	×	5.80						
							アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 30.0kmまで	t 台	0.010	0.008	×	1.200	＝	0.010	※配水管布設替工へ計上					

数量計算書

給水管切替工

材料費数量調書

材料名	規格		給水切替 φ 50 2件	給水切替 φ 20 42件	給水切替 φ 25 1件	合計	設計数量
サドル付分水栓	HPPE用 φ 75×50	個	2			2	2
サドル付分水栓	HPPE用 φ 75×25	個			1	1	1
サドル付分水栓	HPPE用 φ 75×20	個		33		33	33
サドル付分水栓	HPPE用 φ 50×20	個		4		4	4
サドル付分水栓	HIVP用 φ 50×20	個		5		5	5
HIろくろ継手	φ 50 分・止水栓用	個	2			2	2
HIろくろ継手	φ 25 分・止水栓用	個			1	1	1
HIろくろ継手	φ 20 分・止水栓用	個		42		42	42
HIRRVP	φ 50 L=5.0m (小口)	m 本	25.0 5			25.0 5	5
HIVP	φ 50 L=5.0m	m 本	11.0 3			11.0 3	3
HIVP	φ 25 L=4.0m (小口)	m 本	1.5		2.0 1	3.5 1	1
HIVP	φ 20 L=4.0m (小口)	m 本		80.7 21		80.7 21	21
HIソケット	φ 50 (小口)	個	4			4	4

材料費数量調書

材料名	規格		給水切替 φ 50 2件	給水切替 φ 20 42件	給水切替 φ 25 1件	合計	設計数量
HIソケット	φ 25 (小口)	個	2		1	3	3
HIソケット	φ 20 (小口)	個		42		42	42
HIエルボ [°]	φ 50 (小口)	個	2			2	2
HIエルボ [°]	φ 25 (小口)	個	2		2	4	4
HIエルボ [°]	φ 20 (小口)	個		84		84	84
HI異径ソケット	φ 20×13 (小口)	個		29		29	29
金属入りバルブソケット	φ 25 (小口)	個	1			1	1
VP用キャップ [°]	φ 50 離脱防止内蔵型 内外面粉体塗装	基	1			1	1
ソフトシール仕切弁 (一体型)	φ 50 右開き 浅層埋設型	基	1			1	1
止水栓	φ 25 シールリング [°] 止水栓 平行おねじ	個	1			1	1
メーターユニオン	φ 25 HI用 ガイト [°] ナット付	個	2			2	2
パッキン (MQリング)	φ 25	枚	2			2	2
仕切弁筐	中700-965	基	1			1	1

材料費数量調書							
材料名	規格		給水切替 φ 50 2件	給水切替 φ 20 42件	給水切替 φ 25 1件	合計	設計数量
丸台座 再生プラスチック	中、中長、小、最小	基	1			1	1
止水栓筐【支給品】	排泥弁用 伸縮型75×65～100	基	1			1	0

布設費数量調書

名称	条件区分等		給水切替 φ 50 2件	給水切替 φ 20 42件	給水切替 φ 25 1件	合計	設計数量
サドル分水栓建込み	分岐口径50 配水用ポリエチレン管 口径75	箇所	2			2	2
サドル分水栓建込み	分岐口径25 配水用ポリエチレン管 口径75	箇所			1	1	1
サドル分水栓建込み	分岐口径20 配水用ポリエチレン管 口径75	箇所		33		33	33
サドル分水栓建込み	分岐口径20 配水用ポリエチレン管 口径50	箇所		4		4	4
サドル分水栓建込み	分岐口径20 HIVP管 口径50	箇所		5		5	5
硬質塩化ビニル管据付工	呼び径50mm	m	36.0			36.0	36
硬質塩化ビニル管据付工	呼び径25mm	m	1.5		2.0	3.5	4
硬質塩化ビニル管据付工	呼び径20mm	m		80.7		80.7	81
硬質塩化ビニル管切断工	呼び径50mm	口	4			4	4
硬質塩化ビニル管切断工	呼び径25mm	口	3		2	5	5
硬質塩化ビニル管切断工	呼び径20mm	口		99		99	99
硬質塩化ビニル管TS継手工	呼び径50mm	口	12			12	12
硬質塩化ビニル管TS継手工	呼び径25mm	口	9		6	15	15
硬質塩化ビニル管TS継手工	呼び径20mm	口		281		281	281

布設費数量調書

名称	条件区分等		給水切替 φ 50 2件	給水切替 φ 20 42件	給水切替 φ 25 1件	合計	設計数量
硬質塩化ビニル管TS継手工	呼び径13mm	口		29		29	29
硬質塩化ビニル管RR継手工	離脱防止金具不使用 呼び径50mm	口	5			5	5
小口径管ねじ込み接合工	呼び径25mm	口	1			1	1
メカニカル継手工	呼び径75mm以下	口	3			3	3
鋳鉄製仕切弁設置	(縦型) 機械力 φ 100以下	基	1			1	1
ねじ式弁筐設置	A型1号 受棒30以上60Kg未満 蓋30Kg未満 底版を使用する	箇所	1			1	1
止水栓取付け工	VP用 止水栓及び筐取付 呼び径25mm	箇所	1			1	1

土工費数量調書

名 称	形状寸法	単位	町道舗装部	町道未舗装部	合計	設計数量
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	131.20		131.20	131
バックホによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホ クローラ山積0.28m3	m2	39.18		39.18	39
バックホ掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	34.44	19.84	54.28	54
管路埋戻費(機械埋戻 バックホ) 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	16.74	9.51	26.25	26
管路埋戻費(機械埋戻 バックホ) 発生材	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	2.74	8.15	10.89	11
路盤工(施工幅1.8m未満) 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンパ	m2	39.18		39.18	39
路盤工(施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0 タンパ	m2	39.18		39.18	39
路盤工(施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚10cm	M30-0 タンパ	m2		21.06	21.06	21
アスファルト舗装工(人力) 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン(13) プライムコート(PK-3)	m2	39.18		39.18	39
発生土運搬 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し ダンプトラック4t L=10.0km	m3	31.70	1.36	33.06	33
発生土処分		m3	31.70	1.36	33.06	33
アスファルト塊・コンクリート塊(無筋) 運搬費 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し ダンプトラック4t L=10.0km	m3	1.96		1.96	2
廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	4.61		4.61	5
アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶融を含まず)	m3	0.171		0.17	0.17
アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 30.0kmまで	t 台	0.205		0.205	配水管布設替工 に含む

土工費数量調書①

略 図				名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式																																																																																													
補助単独	舗装区分	土工計算方法		備考																																																																																																			
—	町道舗装部	掘削断面×総延長		HIVP φ 20～50		舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	131. 20	0.60×1	+	65.30×2	箇所																																																																																										
掘削 埋戻し 50 舗装版取壊 再生密粒度AS 再生粒調砕石 RM40-0 再生切込砕石 RC40-0 発生土 埋戻し用砂 5-0 機械掘削 879 600 929 430 800 429 70 300 29 100 <tr><td>バックホウによる舗装版 直接掘削・積込</td><td>舗装厚0cm超え10cm以下 バックホウ クローラ山積0.28m3</td><td>m2</td><td>39. 18</td><td>0.60×65.30</td><td></td></tr> <tr><td>バックホウ掘削積込</td><td>クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)</td><td>m3</td><td>34. 44</td><td>$0.60 \times 0.879 \times 65.30$</td><td></td></tr> <tr><td>管路埋戻費（機械埋戻 バックホウ） 砂（埋め戻し用）</td><td>クローラ型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め</td><td>m3</td><td>16. 74</td><td>$0.60 \times 0.429 - 0.001$</td><td>$\times 65.30$</td></tr> <tr><td>管路埋戻費（機械埋戻 バックホウ） 発生土</td><td>クローラ型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め</td><td>m3</td><td>2. 74</td><td>$0.60 \times 0.07 \times 65.30$</td><td></td></tr> <tr><td>路盤工（施工幅1.8m未満） 下層路盤 全仕上り厚23cm</td><td>RC40-0 タンバ</td><td>m2</td><td>39. 18</td><td>0.60×65.30</td><td></td></tr> <tr><td>路盤工（施工幅1.8m未満） 上層路盤 全仕上り厚15cm</td><td>RM40-0 タンバ</td><td>m2</td><td>39. 18</td><td>0.60×65.30</td><td></td></tr> <tr><td>アスファルト舗装工（人力） 舗装厚5cm</td><td>再生密粒度アスコン（13） プライムコート（PK-3）</td><td>m2</td><td>39. 18</td><td>0.60×65.30</td><td></td></tr> <tr><td colspan="2">平均管径と総延長の計算</td><td>発生土運搬 現場～処分場</td><td>BH0.28m³ DID無し ダンプトラック4t L=10.0km</td><td>m3</td><td>31. 70</td><td>$34.44 - 2.74$</td></tr> <tr><td>H=800 ②、③、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨</td><td>HIVP</td><td>26</td><td>58.10</td><td></td><td>58.10</td><td>37件</td></tr> <tr><td>H=800 ④</td><td>HIVP</td><td>32</td><td>1.50</td><td></td><td>1.50</td><td>1件</td></tr> <tr><td>H=800 ①、⑩</td><td>HIVP</td><td>60</td><td>5.70</td><td></td><td>5.70</td><td>2件</td></tr> <tr><td colspan="2"></td><td>アスファルト塊・コンクリート塊（無筋） 運搬費 現場～処分場</td><td>BH0.28m³ DID無し ダンプトラック4t L=10.0km</td><td>m3</td><td>1.96</td><td>$0.60 \times 0.05 \times 65.30$</td></tr> <tr><td colspan="2"></td><td>廃材持込料 As廃材</td><td>東松山県土整備事務所</td><td>t</td><td>4.61</td><td>1.96×2.35</td></tr> <tr><td colspan="2"></td><td>アスファルト切断濁水処分費</td><td>中間処理後、最終処分場に搬入 （処理に焼却又は溶融を含まず）</td><td>m3</td><td>0.171</td><td>$0.13 \div 100 \times 131.20$</td></tr> <tr><td colspan="2"></td><td>アスファルト切断濁水運搬</td><td>積載量 2t 運搬距離 30.0kmまで</td><td>t 台</td><td>0.205 —</td><td>$0.171 \times 1.200 = 0.205$ ※配水管布設替工へ計上</td></tr>						バックホウによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホウ クローラ山積0.28m3	m2	39. 18	0.60×65.30		バックホウ掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	34. 44	$0.60 \times 0.879 \times 65.30$		管路埋戻費（機械埋戻 バックホウ） 砂（埋め戻し用）	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め	m3	16. 74	$0.60 \times 0.429 - 0.001$	$\times 65.30$	管路埋戻費（機械埋戻 バックホウ） 発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め	m3	2. 74	$0.60 \times 0.07 \times 65.30$		路盤工（施工幅1.8m未満） 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンバ	m2	39. 18	0.60×65.30		路盤工（施工幅1.8m未満） 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0 タンバ	m2	39. 18	0.60×65.30		アスファルト舗装工（人力） 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン（13） プライムコート（PK-3）	m2	39. 18	0.60×65.30		平均管径と総延長の計算		発生土運搬 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し ダンプトラック4t L=10.0km	m3	31. 70	$34.44 - 2.74$	H=800 ②、③、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨	HIVP	26	58.10		58.10	37件	H=800 ④	HIVP	32	1.50		1.50	1件	H=800 ①、⑩	HIVP	60	5.70		5.70	2件			アスファルト塊・コンクリート塊（無筋） 運搬費 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し ダンプトラック4t L=10.0km	m3	1.96	$0.60 \times 0.05 \times 65.30$			廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	4.61	1.96×2.35			アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 （処理に焼却又は溶融を含まず）	m3	0.171	$0.13 \div 100 \times 131.20$			アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 30.0kmまで	t 台	0.205 —	$0.171 \times 1.200 = 0.205$ ※配水管布設替工へ計上
						バックホウによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホウ クローラ山積0.28m3	m2	39. 18	0.60×65.30																																																																																													
						バックホウ掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	34. 44	$0.60 \times 0.879 \times 65.30$																																																																																													
						管路埋戻費（機械埋戻 バックホウ） 砂（埋め戻し用）	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め	m3	16. 74	$0.60 \times 0.429 - 0.001$	$\times 65.30$																																																																																												
						管路埋戻費（機械埋戻 バックホウ） 発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め	m3	2. 74	$0.60 \times 0.07 \times 65.30$																																																																																													
						路盤工（施工幅1.8m未満） 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンバ	m2	39. 18	0.60×65.30																																																																																													
						路盤工（施工幅1.8m未満） 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0 タンバ	m2	39. 18	0.60×65.30																																																																																													
						アスファルト舗装工（人力） 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン（13） プライムコート（PK-3）	m2	39. 18	0.60×65.30																																																																																													
						平均管径と総延長の計算		発生土運搬 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し ダンプトラック4t L=10.0km	m3	31. 70	$34.44 - 2.74$																																																																																											
						H=800 ②、③、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨	HIVP	26	58.10		58.10	37件																																																																																											
						H=800 ④	HIVP	32	1.50		1.50	1件																																																																																											
						H=800 ①、⑩	HIVP	60	5.70		5.70	2件																																																																																											
		アスファルト塊・コンクリート塊（無筋） 運搬費 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し ダンプトラック4t L=10.0km	m3	1.96	$0.60 \times 0.05 \times 65.30$																																																																																																	
		廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	4.61	1.96×2.35																																																																																																	
		アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 （処理に焼却又は溶融を含まず）	m3	0.171	$0.13 \div 100 \times 131.20$																																																																																																	
		アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 30.0kmまで	t 台	0.205 —	$0.171 \times 1.200 = 0.205$ ※配水管布設替工へ計上																																																																																																	

土工費数量調書②

略 図				名 称	形状寸法	単位	数量	計 算 式		
補助単独	舗装区分	土工計算方法		備考						
—	町道未舗装部	掘削断面×総延長		HIVP φ 20～50	バックホ掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	19.84	$0.60^m \times 0.942^m \times 35.10^m$	
掘削 埋戻し 942 600 100 387 300 55 100 487 787 455 5-0 機械掘削 粒調砕石 M30-0 発生土 埋戻し用砂					管路埋戻費 (機械埋戻 バックホ) 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め	m3	9.51	$0.60^m \times 0.455^m - 0.002^{m2} \times 35.10^m$	
					管路埋戻費 (機械埋戻 バックホ) 発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め	m3	8.15	$0.60^m \times 0.387^m \times 35.10^m$	
					路盤工 (施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚10cm	M30-0 タンバ	m2	21.06	$0.60^m \times 35.10^m$	
					発生土運搬 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し ダンプトラック4t L=10.0km	m3	1.36	$9.51^{m3} - 8.15$	
					発生土処分		m3	1.36		
					平均管径と総延長の計算					
箇所	管種	径	延長	余堀り	計上分	備考				
H=700 ⑪、⑫	HIVP	26	4.60		4.60	5件				
H=800 ⑩	HIVP	32	0.50		0.50	1件				
H=800 ⑩	HIVP	60	30.00		30.00	1件				

数量計算書

配・給水管仮設工

材料費数量調書

名 称	形状寸法	単位	配水管 布設替部	支給品	設計数量
水道用ポリエチレン二層管	3回使用 φ 50 1種(軟質)二層管	m	638.0		638.0
水道用ポリエチレン二層管	3回使用 φ 25 1種(軟質)二層管	m	29.0		29.0
水道用ポリエチレン二層管	3回使用 φ 20 1種(軟質)二層管	m	30.0		30.0
水道用ポリエチレン二層管	3回使用 φ 13 1種(軟質)二層管	m	105.0		105.0
高発泡ポリエチレンパイプカバー	3回使用 φ 50 ワンタッチ L=2.0m 肉厚10mm	本	319		319
高発泡ポリエチレンパイプカバー	3回使用 φ 25 ワンタッチ L=2.0m 肉厚10mm	本	15		15
高発泡ポリエチレンパイプカバー	3回使用 φ 20 ワンタッチ L=2.0m 肉厚10mm	本	15		15
高発泡ポリエチレンパイプカバー	3回使用 φ 13 ワンタッチ L=2.0m 肉厚10mm	本	53		53
スリースバルブ	3回使用 50A 砲金製	個	18		18
スリースバルブ	3回使用 25A 砲金製	個	3		3
スリースバルブ	3回使用 20A 砲金製	個	6		6
スリースバルブ	3回使用 13A 砲金製	個	35		35
ポリ管用継手YTジョイント砲金	3回使用 アダプター φ 50 砲金製	個	31		31

材料費数量調書

名 称	形状寸法	単位	配水管 布設替部	支給品	設計数量
ポリ管用継手YTジョイント砲金	3回使用 アダプター φ25 砲金製	個	6		6
ポリ管用継手YTジョイント砲金	3回使用 アダプター φ20 砲金製	個	12		12
ポリ管用継手YTジョイント砲金	3回使用 アダプター φ13 砲金製	個	70		70
メートルボ	3回使用 φ20 エオン・テパ° めねじ 砲金製	個	4		4
メートルボ	3回使用 φ13 エオン・テパ° めねじ 砲金製	個	32		32
ポリ管用継手YTジョイント砲金	3回使用 チーズ φ50×50 砲金製	個	7		7
ポリ管用継手YTジョイント砲金	3回使用 チーズ φ50×25 砲金製	個	2		2
ポリ管用継手YTジョイント砲金	3回使用 チーズ φ50×20 砲金製	個	6		6
ポリ管用継手YTジョイント砲金	3回使用 チーズ φ50×13 砲金製	個	30		30
ポリ管用継手YTジョイント砲金	3回使用 チーズ φ25×13 砲金製	個	2		2
ポリ管用継手YTジョイント砲金	3回使用 チーズ φ20×13 砲金製	個	1		1
ポリ管用継手YTジョイント砲金	3回使用 ソケット φ50×13 砲金製	個	1		1
ポリ管用継手YTジョイント砲金	3回使用 ソケット φ20×13 砲金製	個	1		1

材料費数量調書

名 称	形状寸法	単位	配水管 布設替部	支給品	設計数量
ポリ管用継手YTジョイント砲金	3回使用 エルボ φ50 砲金製	個	12		12
HIバルブソケット	φ50 (小口)	個	5		5
HIVP	φ50 L=5.0m	m 本	11.0 3		3
HIエルボ	φ50 (小口)	個	13		13
HIソケット	φ50 (小口)	個	2		2
サドル付分水栓	防食フィルム付 φ75×50 VP用	個	2		2
サドル付分水栓	防食フィルム付 φ75×50 HPPE用	個	1		1
メーターユニオン	φ50 HI用 ガイトナット付	個	3		3
パッキン(カスケット)	φ50	枚	3		3
分水栓用キャップ	φ50	個	3		3
仮設消火栓【支給品】	φ50	基		1	0

布設費数量調書

名 称	形状寸法	単位	配水管 布設替部		設計数量
仮設ホ°ポリエチレン管据付工	φ 50	m	638.0		638.0
仮設ホ°ポリエチレン管据付工	φ 25	m	29.0		29.0
仮設ホ°ポリエチレン管据付工	φ 20	m	30.0		30.0
仮設ホ°ポリエチレン管据付工	φ 13	m	105.0		105.0
仮設ホ°ポリエチレン管継手工	φ 50	口	153		153
仮設ホ°ポリエチレン管継手工	φ 25	口	12		12
仮設ホ°ポリエチレン管継手工	φ 20	口	25		25
仮設ホ°ポリエチレン管継手工	φ 13	口	134		134
ホ°ポリエチレン管切断工	φ 50	口	62		62
ホ°ポリエチレン管切断工	φ 25	口	7		7
ホ°ポリエチレン管切断工	φ 20	口	13		13
ホ°ポリエチレン管切断工	φ 13	口	64		64
保温工	φ 50	m	638.0		638.0

布設費数量調書

名 称	形状寸法	単位	配水管 布設替部		設計数量
保温工	φ 25	m	29.0		29.0
保温工	φ 20	m	30.0		30.0
保温工	φ 13	m	105.0		105.0
仮設小口径鋼管ねじ込み接合設置工	φ 50	口	36		36
仮設小口径鋼管ねじ込み接合設置工	φ 25	口	6		6
仮設小口径鋼管ねじ込み接合設置工	φ 20	口	12		12
仮設小口径鋼管ねじ込み接合設置工	φ 13	口	70		70
硬質塩化ビニル管据付工	呼び径50mm	m	11.0		11
硬質塩化ビニル管TS継手工	呼び径50mm	口	35		35
硬質塩化ビニル管切断工	呼び径50mm	口	13		13
サドル分水栓建込み	分岐口径 φ 50 HIVP管 呼び径 φ 75	箇所	2		2
サドル分水栓建込み	分岐口径 φ 50 HPPE管 呼び径 φ 75	箇所	1		1

撤去費数量調書					
名 称	形状寸法	単位	配水管 布設替部		設計数量
仮設ポリエチレン管撤去工	φ 50	m	638.0		638.0
仮設ポリエチレン管撤去工	φ 25	m	29.0		29.0
仮設ポリエチレン管撤去工	φ 20	m	30.0		30.0
仮設ポリエチレン管撤去工	φ 13	m	105.0		105.0
仮設ポリエチレン管継手撤去工	φ 50	口	153		153
仮設ポリエチレン管継手撤去工	φ 25	口	12		12
仮設ポリエチレン管継手撤去工	φ 20	口	25		25
仮設ポリエチレン管継手撤去工	φ 13	口	134		134
仮設小口径鋼管ねじ込み接合撤去工	φ 50	口	36		36
仮設小口径鋼管ねじ込み接合撤去工	φ 25	口	6		6
仮設小口径鋼管ねじ込み接合撤去工	φ 20	口	12		12
仮設小口径鋼管ねじ込み接合撤去工	φ 13	口	70		70
硬質塩化ビニル管撤去工	呼び径50mm	m	11.0		11

土工費数量調書											
名 称	形状寸法	単位	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	合計	積算数量
			仮設取出版	仮設取出撤去部	仮設接続部	仮設接続部	仮設接続撤去部	仮設管埋設部	仮設管撤去部		
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	4.00		2.60	2.00		20.00		28.60	29
バックホーによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホー クローラ山積0.28m ³	m ²	0.96	0.96	0.60	0.42	0.42	6.00	6.00	15.36	15
バックホー掘削積込	クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2)	m ²	0.67	0.69	0.23	0.06	0.07	2.28	2.40	6.40	6
人力掘削		m ³	0.46	0.28	0.26	0.19	0.15			1.34	1
管路埋戻費 (機械埋戻 バックホー) 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m ³ 埋戻し+締固め	m ³	0.46		0.26	0.09				0.81	1
管路埋戻費 (機械埋戻 バックホー) 発生土	クローラ型 山積0.28m ³ 埋戻し+締固め	m ³	0.31	0.60			0.05			0.96	1
路盤工 (施工幅1.8m未満) 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンパ	m ²	0.96		0.60	0.42		6.00		7.98	8
路盤工 (施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚17cm	RM40-0 タンパ	m ²	0.96		0.60	0.42		6.00		7.98	8
アスファルト舗装工 (人力) 舗装厚3cm	再生密粒度アスコン (13)	m ²	0.96		0.60	0.42		6.00		7.98	8
路盤工 (施工幅1.8m未満) 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 (発生土) タンパ	m ²		0.96			0.42		6.00	7.38	7
路盤工 (施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0 (発生土) タンパ	m ²		0.96			0.42		6.00	7.38	7
アスファルト舗装工 (人力) 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン (13) プライムコート (PK-3)	m ²		0.96			0.42		6.00	7.38	7
発生土運搬 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し ダンプトラック4t L=10.0km	m ³	0.82	0.01	0.49	0.25	0.01	2.28	0.12	3.98	4
発生土処分		m ³	0.82	0.01	0.49	0.25	0.01	2.28	0.12	3.98	4
アスファルト塊・コンクリート塊 (無筋) 運搬費 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し ダンプトラック4t L=10.0km	m ³	0.05	0.03	0.03	0.02	0.01	0.30	0.18	0.62	0.6
廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0.12	0.07	0.07	0.05	0.02	0.71	0.42	1.46	1.5
アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶解を含まず)	m ³	0.005		0.003	0.003		0.026		0.04	0.037
アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 30.0kmまで	t 台	0.006		0.004	0.004		0.031		0.045	配水管布設替工に 含む

土工費数量調書No.1

略 図							名 称	形状寸法	単位	数量	計 算 式		
補助単独	舗装区分	土工計算方法			備考								
—	仮設取部	掘削断面×総延長			HIVP φ 75 HIVP φ 50		舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	4. 00	$0.80^m \times 2$	+	$1.20^m \times 2$
掘削埋戻し 50 700 489 舗装版取壊 再生密粒度AS 再生粒調砕石 RM40-0 再生切込砕石 RC40-0 機械掘削 発生土 人力掘削 埋戻し用砂 5-0 800 30 170 230 320 300 89 100 430 1050 489 1239							バックホりによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホり クローラ山積0.28m3	m2	0. 96	$0.80^m \times 1.20^m$		
							バックホり掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	0. 67	$0.80^m \times 0.700^m \times 1.20^m$		
							人力掘削		m3	0. 46	$0.80^m \times 0.489^m - 0.006$	)	$\times 1.20^m$
							管路埋戻費（機械埋戻 バックホり） 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	0. 46	$0.80^m \times 0.489^m - 0.006$	)	$\times 1.20^m$
							管路埋戻費（機械埋戻 バックホり） 発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	0. 31	$0.80^m \times 0.320^m \times 1.20$		
							路盤工（施工幅1.8m未満） 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンバ	m2	0. 96	$0.80^m \times 1.20^m$		
							路盤工（施工幅1.8m未満） 上層路盤 全仕上り厚17cm	RM40-0 タンバ	m2	0. 96	$0.80^m \times 1.20^m$		
							平均管径と総延長の計算						
							箇所	管種	径	延長	余堀り	計上分	備考
							①H=1200	HIVP	89	0.6		0.6	
							②H=900	HIVP	89	0.6		0.6	

土工費数量調書No.2

略 図						名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式											
補助単独	舗装区分	土工計算方法			備考																		
—	仮設取出撤去部	掘削断面×総延長			HIVP φ 50		バックホーによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホー クローラ山積0.28m3	m2	0.96	$\frac{m}{0.80} \times \frac{m}{1.20}$												
掘削埋戻し 30 720 300 舗装版取壊 再生密粒度AS 機械掘削 再生粒調碎石 RM40-0 再生切込碎石 RC40-0 発生土 人力掘削 800 2 50 150 230 620 430 1050																							
							バックホー掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	0.69	$\frac{m}{0.80} \times \frac{m}{0.720} \times \frac{m}{1.20}$												
							人力掘削		m3	0.28	$\frac{m}{0.80} \times \frac{m}{0.300} - 0.003) \times \frac{m}{1.20}$												
							管路埋戻費（機械埋戻 バックホー） 発生材	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	0.60	$\frac{m}{0.80} \times \frac{m}{0.620} \times \frac{m}{1.20}$												
							路盤工（施工幅1.8m未満） 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC-40（発生土） タンバ	m2	0.96	$\frac{m}{0.80} \times \frac{m}{1.20}$												
							路盤工（施工幅1.8m未満） 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM-40（発生土） タンバ	m2	0.96	$\frac{m}{0.80} \times \frac{m}{1.20}$												
							アスファルト舗装工（人力） 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン（13） プライムコート(PK-3)	m2	0.96	$\frac{m}{0.80} \times \frac{m}{1.20}$												
							発生土運搬 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し 4t L=10.0km	m3	0.01	$\frac{m^3}{0.69} + \frac{m^3}{0.28} - \frac{m^3}{0.60} - \frac{RM-40}{0.14} - \frac{RC-40}{0.22}$												
							平均管径と総延長の計算																
							箇所	管種	径	延長	余堀り	計上分	備考	発生土処分		m3	0.01						
							①H=1200	HIVP	60	0.6		0.6											
②H=900	HIVP	60	0.6		0.6		アスファルト塊・コンクリート塊（無筋） 運搬費 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し タンバトラック4t L=10.0km	m3	0.03	$\frac{m}{0.80} \times \frac{m}{0.03} \times \frac{m}{1.20}$												
							廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0.07	$\frac{m^3}{0.030} \times \frac{t/m^3}{2.35}$												
		径	60		総延長	1.2																	

土工費数量調書No.3

略 図				名 称	形状寸法	単位	数量	計 算 式						
補助単独	舗装区分	土工計算方法		備考										
—	仮設接続部	掘削断面×総延長		HIVP φ50	舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	2.60	0.60×1	$+ 1.00 \times 2$				
掘削 埋戻し 50 380 430 舗装版取壊 機械掘削 人力掘削 再生密粒度AS RM40-0 再生粒調砕石 RC40-0 埋戻し用砂 30 170 230 270 60 100 430 700 430 860 600					バックホーによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホー クローラ山積0.28m3	m2	0.60	0.60×1.00					
						クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	0.23	$0.60 \times 0.380 \times 1.00$					
							m3	0.26	$0.60 \times 0.430 - 0.003 \times 1.00$					
						管路埋戻費 (機械埋戻 バックホー)	クローラ型 山積0.28m3 砂(埋め戻し用)	m3	0.26	$0.60 \times 0.430 - 0.003 \times 1.00$				
						路盤工 (施工幅1.8m未満) 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンバ	m2	0.60	0.60×1.00				
						路盤工 (施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚17cm	RM40-0 タンバ	m2	0.60	0.60×1.00				
						アスファルト舗装工 (人力) 舗装厚3cm	再生密粒度アスコン (13)	m2	0.60	0.60×1.00				
					平均管径と総延長の計算					発生土運搬 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し 4t L=10.0km	m3	0.49	$0.23 + 0.26$
					箇所	管種	径	延長	余堀り	計上分	備考			
					③H=700	HIVP	60	0.5	0.5	1.0				
</														

土工費数量調書No.4

略 図				名 称	形状寸法	単位	数量	計 算 式		
補助単独	舗装区分	土工計算方法	備考							
—	仮設接続部	掘削断面×総延長	HIVP φ 50	舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	2.00	0.60×1	+	0.70×2
掘削 埋戻し				バックホーによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホー クローラ山積0.28m3	m2	0.42	0.60×0.70		
					クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	0.06	0.60×0.15	×	0.70
				人力掘削		m3	0.19	0.60×0.46	-	0.003×0.70
				管路埋戻費 (機械埋戻 バックホー)	クローラ型 山積0.28m3 砂(埋め戻し用)	m3	0.09	0.60×0.23	-	0.003×0.70
				路盤工 (施工幅1.8m未満) 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンパ	m2	0.42	0.60×0.70		
				路盤工 (施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚17cm	RM40-0 タンパ	m2	0.42	0.60×0.70		
				アスファルト舗装工 (人力) 舗装厚3cm	再生密粒度アスコン (13)	m2	0.42	0.60×0.70		
				発生土運搬 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し 4t L=10.0km	m3	0.25	$0.06 + 0.19$		
				発生土処分		m3	0.25			
				アスファルト塊・コンクリート塊 (無筋) 運搬費 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し ダンプトラック4t L=10.0km	m3	0.02	0.60×0.05	×	0.70
				廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0.05	0.020×2.35		
				アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶解を含まず)	m3	0.003	$0.13 \div 100$	×	2.00
				アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 30.0kmまで	t 台	0.004	0.003×1.2	=	0.004 ※配水管布設替工へ計上
				径 60	総延長	0.7				

土工費数量調書No.5

略 図							名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式								
補助単独	舗装区分	土工計算方法			備考																
—	仮設接続撤去部	掘削断面×総延長			HIVP φ 50		バックホリによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホリ クローラ山積0.28m3	m2	0.42	$\frac{0.60}{\text{m}} \times \frac{0.70}{\text{m}}$										
掘削 埋戻し 30 170 360 舗装版取壊 I再生密粒度AS 機械掘削 再生粒調砕石 RM40-0 人力掘削 再生切込砕石 RC40-0 発生土 50 150 230 130 430 560 600																					
							バックホリ掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	0.07	$\frac{0.60}{\text{m}} \times \frac{0.17}{\text{m}} \times \frac{0.70}{\text{m}}$										
							人力掘削		m3	0.15	$\frac{0.60}{\text{m}} \times \frac{0.36}{\text{m}} - 0.003) \times \frac{0.70}{\text{m}}$										
							管路埋戻費（機械埋戻 バックホリ） 発生材	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	0.05	$\frac{0.60}{\text{m}} \times \frac{0.13}{\text{m}} \times 0.70$										
							路盤工（施工幅1.8m未満） 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC-40（発生土） タンバ	m2	0.42	$\frac{0.60}{\text{m}} \times \frac{0.70}{\text{m}}$										
							路盤工（施工幅1.8m未満） 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM-40（発生土） タンバ	m2	0.42	$\frac{0.60}{\text{m}} \times \frac{0.70}{\text{m}}$										
							アスファルト舗装工（人力） 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン（13） プライムコート(PK-3)	m2	0.42	$\frac{0.60}{\text{m}} \times \frac{0.70}{\text{m}}$										
							発生土運搬 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し 4t L=10.0km	m3	0.01	$\frac{0.07}{\text{m}^3} + \frac{0.15}{\text{m}^3} - \frac{0.05}{\text{m}^3} - \frac{0.06}{\text{m}^3} - \frac{0.10}{\text{m}^3}$										

土工費数量調書No.7

略 図				名 称	形状寸法	単位	数量	計 算 式						
補助単独	舗装区分	土工計算方法		備考										
—	仮設管撤去部	掘削断面×総延長		PPφ25 PPφ50	バックホーによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホー クローラ山積0.28m ³	m ²	6.00	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{10.00}$					
掘削 埋戻し 30 400 舗装版取壊 再生密粒度AS 再生粒調砕石 RM40-0 機械掘削 再生切込砕石 RC40-0 30 150 230 430 600														
					バックホー掘削積込	クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2)	m ³	2.40	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{0.40} \times \frac{m}{10.00}$					
					路盤工（施工幅1.8m未満） 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC-40（発生土） タンバ	m ²	6.00	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{10.00}$					
					路盤工（施工幅1.8m未満） 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM-40（発生土） タンバ	m ²	6.00	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{10.00}$					
					アスファルト舗装工（人力） 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン（13） プライムコート（PK-3）	m ²	6.00	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{10.00}$					
					発生土運搬 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し 4t L=10.0km	m ³	0.12	$\frac{RM-40}{m^3} \frac{RC-40}{m^3}$					
					発生土処分		m ³	0.12						
					アスファルト塊・コンクリート塊（無筋） 運搬費 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無し ダンプトラック4t L=10.0km	m ³	0.18	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{0.03} \times \frac{m}{10.00}$					
					平均管径と総延長の計算								$\frac{m^3}{t}$	$\frac{t}{m^3}$
					箇所	管種	径	延長	余堀り	計上分	備考	廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t
埋設区間①	HIVP	60	3.0		3.0									
埋設区間②	PP	34	3.5		3.5									
埋設区間③	PP	60	3.5		3.5									